



景観に配慮した住宅 南花園の家

所在地：千葉市花見川区南花園
施主：北原理雄
設計：(株)カトーアソシエイツ
施工：三建建築創作(株)

JR新検見川駅より徒歩数分、毎秋開かれる国際駅伝ロードから、ちょっと住宅地に入りかけた場所に、この住まいは建っている。

外観は間口の半分程の低い生け垣がわずかに敷地の境界を示し、大屋根から伸びた低い一文字の軒、何気ない玄関ポーチ、そこにおかれた木のベンチ、肩をちょっと上げたようなシャイな二階の軒先、などが人目を引く。前を通りかかる人がおもわず入りたくなるような親しみを持ち、ここの住人の人柄が偲ばれるようなゆとりのある心地よい空間を創りあげている。老夫婦、若夫婦とその子供が過ごすこの住まいは、いわゆる今風の二世帯住宅とはおもむきが異なっている。中央に設けられた吹き抜け土間は、おのこの生活空間の独立性、通風性などの機能を見事に満ち、屋外空間の解放感をも再演している。二階南面のベランダは、冬晴れの日の富士山、夏の花火など、四季をこの家に取り込む家族の団らんステージとして計画されたと言う。プライバシー部分を見極めながら賢い住まい方をみせられ、家族の奥ゆかしさが感じられる。これを創りあげた設計者の心配り、施工した職人の心意気が住まいに関心を持つ私としては、住まいの好ましい一つのありかたを見せられた思いがした。

(鶴巻昭二 委員)

